

調査研究活動実績

氏名 西内 健

本年度（平成27年度）の政務調査研究に関する主な活動の実施状況を報告いたします。

1. 施設園芸に関する調査研究

大阪市場等へ視察を行い、現在の園芸作物に関する強みや今後の課題について調査を行った。

全国的に就農者の減少と高齢化が進む中、これまでのきゅうりやししとう等の大規模な産地が衰退していく中、市場としても園芸作物の確保が今後の課題であることを挙げていた。

まとまりのある園芸産地の形成が、今後の農業において強みになるのは間違いのないところであり、担い手の確保をはじめとする課題を解決する必要がある。

今後は外国人技能実習制度も含め研究を行っていく。

2. スポーツツーリズムに関する調査研究

プロスポーツのキャンプ誘致をはじめとするスポーツツーリズムについて調査を行った。

オリックス球団と意見交換を行い、球場等の施設に対する要望や、他球団とのオープン戦を組むための調整に関して意見を聴取した。

アルビレックス新潟への視察においては、球団幹部との話の中で、新潟県においてはスポーツ観戦を行う文化が無いところで、誘客などの課題に対処してきた経緯を聴取した。

サッカーW杯の開催にあわせた球場整備が行われ、プロ球団を創設し、企業をはじめとする地域を巻き込むことで、サポーターの育成を行い、Jリーグ入りを果たしたとのことであった。

Jリーグ入りに関しては、資金面の課題など多くの面で参考となり、今後県内でもJリーグを目指すチームの動向に注目したい。

その他、サイクルスポーツなど、県内のインフラに関して調査を行った。

3. CCRCに関する調査研究

コプラでのセミナーやシェア金沢に視察に赴き、CCRCに関する調査を行った。今後の地方創生の一つの切り口となる可能性のあるCCRCは、高齢者や障害者等のケアを継続的に提供するコミュニティー作りである。

高齢化が進む本県においても、高齢者施設における仕組み作りを考えることによって、高知版CCRCを創生することが可能である。

CCRCに関する取り組みは、始まったばかりであるが、今後も研究を継続していく。

平成27年度政務調査項目

1. 施設園芸について
2. スポーツツーリズムについて
3. CCRCについて
4. 公共交通について
5. 事業再生について
6. 南海トラフ地震対策について
7. 養殖漁業について
8. 南海トラフ地震対策について
9. 医療資源確保について